

KCRC-26-0017

臨床研究の名称	特発性肺線維症における右心カテーテル検査施行の妥当性判断を目的とした AI 定量 CT 解析による肺高血圧症スクリーニング
研究責任者の所属・氏名	呼吸器内科 医長 北村 英也
研究の概要	【目的】 特発性肺線維症をはじめとする間質性肺炎は治療選択肢が限られ、進行性の治癒の困難な病気であることが知られています。肺の病変が進行すると肺高血圧症を発症する方がおり、肺高血圧症を発症した方は特に予後が悪いことが知られています。近年、間質性肺炎に伴う肺高血圧症に対する治療薬も使用可能となっていますが、肺高血圧症の診断はカテーテル検査でしか行えず、患者様に負担のかかる検査となるため、間質性肺炎の方全員に行うことは適切ではなく、事前に肺高血圧症が存在する可能性が高いと考えられる方に実施を行う必要があります。今回、定期受診の際の CT 画像を AI を使用して画像解析することで、肺高血圧症を有する患者さんを精度高く予想し、より適切なタイミングでカテーテル検査での肺高血圧症診断に繋げることができないかと考え、研究を行います。 【対象患者】 特発性肺線維症と診断され、2012 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日の間に当院で右心カテーテル検査を行った方。 【方法】 上記の方を対象に下記情報を収集し検討します。また、胸部 CT 画像については AI 画像解析ソフト（QZIP-ILD）を用いた画像解析を行います。 【使用する情報】 患者背景（年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、既往歴、合併症、家族歴など）、疾患に関する電子カルテの記録（診断日、診断内容、重症度、治療歴、治療内容など）、検査データ（胸部 CT 画像および所見、血液検査、呼吸機能検査、6 分間歩行試験、心エコー検査、カテーテル検査、病理画像および所見など）、各検査の実施間隔、予後関連情報など 【使用の開始予定日】 2026 年 9 月使用開始予定
問い合わせ先	呼吸器内科 医長 北村 英也 〒236-0051 横浜市金沢区富岡東 6-16-1 神奈川県立循環器呼吸器病センター

	電話番号 045-701-9581 (代表)
--	------------------------

2026 年 8 月作成

- ※ 研究に情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益を生じることはありません。上記の問い合わせ先までご連絡いただけましたら、その方の情報は本研究に利用しないようにいたします。
- ※ 問い合わせ先の担当者が不在の場合は、臨床研究室にお問い合わせください。